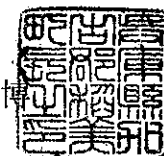




稲土木第 16号の1
平成19年 4月 9日

国土交通省道路局長 様

兵庫県加古郡稲美町
町長 古谷



中期的な計画の作成にあつたての意見の提出について（回答）

稲美町は、国道・鉄軌道が全く無く、周辺には加古川バイパス、国道2号線、国道175号線、山陽自動車道が通っているものの、当該道路とのアクセス道路は脆弱で、土山及び三木小野インターからもかなり離れています。

現在、行われている（都）二見・稲美・三木線、岡交差点改良（地区一括）事業はもとより、（主）宗佐・土山線天満大池以北の平成20年度国庫補助採択にむけ鋭意努力中であります。

また、当町最寄のJR駅は土山駅及び東加古川駅がありますが、土山駅方面は県道宗佐・土山線と国道2号との交差点に右折レーンが無いいため、通勤ラッシュ時には、慢性的な交通渋滞となっており、バス等の到着時間の読みにくさにも苦慮しており、早急に交通の利便性を良くする様に交差点改良の必要性を強く感じております。東加古川駅へのアクセス道路として県道野谷・平岡線並びに県道八幡・別府線の早期整備（バイパス右折、2号線右折レーン等）を行うことにより、東加古川へのバス路線等（公共交通等）の新設も考えられ、住民にとっての利便性向上は必要不可欠であると思えます。

今回新聞報道にもありました、姫路市、明石市、加古川市、高砂市、播磨町及び当町で播磨臨海地域道路網促進協議会が要望を行っている、播磨臨海地域道路（神戸姫路間道路）の早期実現を推進するため、昨年に閣議決定された「道路特定財源の見直しに関する具体策」における道路整備の中期計画に是非とも盛り込んで頂き、稲美町内に新設のICを設置される様、強く要望を致します。